

## おわりに

これまでに行われてきたアドレス資源管理は、インターネットという自律的なネットワークの集合体で、アドレスが健全に利用されることを目指したものである。アドレスブロックを適切な範囲で割り振ることによって、アドレス資源の適切な利用や経路情報の最適化が図られる。この役割の必要性は問うまでもないだろう。

本調査研究で研究対象としてきた IP アドレス認証局は、このアドレス資源の健全な利用に、ネットワークの安全性の観点を取り入れたものである。インターネットが、単に匿名性のあるネットワークを作り出すだけでなく、緊急通報や重要な商取引をも実現するネットワークだとしたら、認証基盤は必要不可欠になる。

本報告書の「はじめに」で問いかけた、インターネットにおけるアドレスと実在性との関係は、おそらく様々な属性に応じて構築されていくと考えられる。商取引の属性、教育の属性、医療の属性など、通信を行うもの同士で相手を認める仕組みが使われると考えられる。

IP アドレス認証局は、今の段階では、様々な属性を付加する前のアドレス資源の管理のために利用される認証局である。このプロジェクトが、通信相手の属性を確認し、安心してやりとりができるような環境作りに繋がるよう、今後も調査研究を継続し、構築を進めたいと考えている。